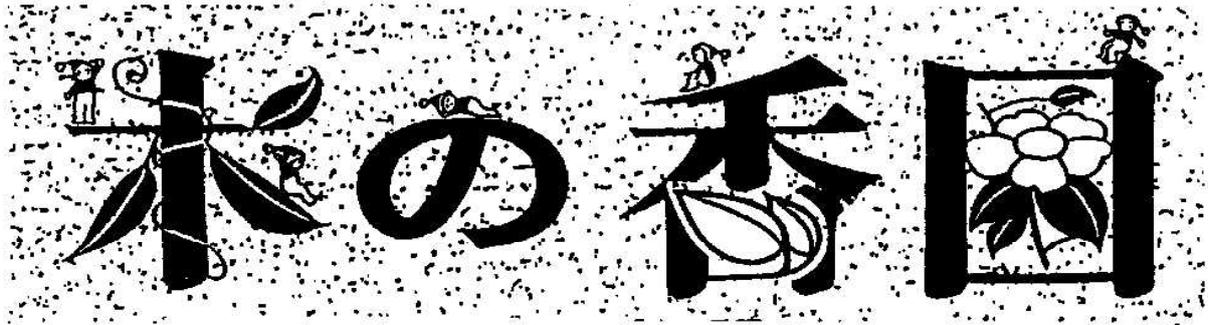


平成21年2月1日



社会福祉法人大川市福祉会 知的障害者通所授産施設 木の香園
日中一時支援 木の香園でいさーびす
指定相談支援 木の香園相談支援センター

〒831-0007 福岡県大川市大字道海島866-1
電話・0944-87-7197 FAX・0944-87-7201
E-mail:kinokaen@soleil.ocn.ne.jp URL:http://www14.ocn.ne.jp/kinokaen



楽しかった一泊旅行

平成20年度の木の香園一泊旅行は11月13・14日、九州を飛び出して東京方面へ行ってきました。

参加者は利用者、職員、一部の保護者合わせて41名で、行き先は「東京ディズニーランド」「浅草・浅草寺」周辺でした。

初めての関東方面への旅行で、歩いた距離もかなりありましたが、参加者全員楽しく一泊二日の東京を楽しみました。

理事長挨拶

社会福祉法人 大川市福祉会

理事長 金子次男



す。あけましておめでとうございま
事長に就任して三年目の春を迎え
ることにいたしました。新しい年の
初めに当たり私自信の一端を申
し述べ、ごあいさつと致します。
迷いが見舞われ、経済の景気の低
いような成長が期待することの難
しい情勢にあります。
社会保険、保健福祉、生活環境
の整備等に寄せられる高年齢化
の進行などの事情から障害者福祉
それなりの地域の手腕が問われる
時代になつてきました。
私どももこの香園も二〇〇
八年度で開設十六年目を迎えてお
ります。これも利用者皆様を始め
め、理事、職員、保護者会、ま
た関係機関との連携のおかげで
継続してこられたものと思つてお

ます。本当にありがとうございます
した。
さて、昨今の福祉行政の移り変
りを見ますと目まぐるしいもの
があり、我が木の香園としま
ましてもこれからの福祉の二
に、応えるべく授産事業の他に障
児を対象にした「日中一時支援
木の香園でいさびす、また様
々な福祉サービス相談を提供す
る指定相談支援木の香園相談支
援センター」を相次いで開設致し
ました。これからの先、常に利用者
第一を考えた対応を心がけてい
なければと思つております。
当たり、長期的な将来の見通しに
下り、新たな基盤整備を着実に進
ていく考えであります。
皆様からお願い致します。新年の
挨拶と致します。

施設長挨拶

社会福祉法人 大川市福祉会

施設長 樺島留男



皆さん、新年おめでとうござい
ます。新しい年の始めに、またこ
うして利用者皆さんの元気な顔が
見られることを嬉しく思つていま
す。障害者自立支援法が施行され
てから三年が経つとしていま
す。昨年の十月頃より世界的に不況
に入り、また日本の政治もここ三
年程、混乱の度を極めており、初
めに提出した五カ年計画も年度初
に承認を受け、相談支援事業、日
一時支援事業（長期休業型・放課
後型）の地域支援事業がスタート
しました。
また、早急にグループホーム、
ケアホーム整備計画への実行に向
進みたいと思つております。邁
近年、利用者に対する支援の考

え方も変革を迎え、旧態依然の保
護的支援サービスから利用者への二
みズに合わせた自立支援（地域で
へと移行してまいります。）サービ
社会福祉法人の運営も守りの事
業運営から攻めの事業運営へと転
換を余儀なくされていきます。
大川市福祉会も個々の利用者の
将来に向けてのニーズ（要望）を
くみ取り事業展開していく所存で
おりますので皆様のご協力・ご支
援の程を宜しくお願いいたします。



新人職員紹介



社会福祉士 上釜 光輝

皆様ははじめまして、4月からお世話になっております上釜光輝（うえかみみつてる）です。出身は鹿児島県の枕崎市です。カツオの町で有名ですが高校進学とも実家を離れてから二十三年になります。家族は妻と息子（3歳、4歳）二人があり、現在は妻の勤務地である熊本に住んでおります。妻が大川市榎津の出身です。週末は大川で過ごすことが多いです。

木の香園に就職する前は、大学を卒業してから十二年間、国立病院機構（旧国立療養所）の重症心身障害児（者）病棟や筋ジストロフィー病棟で児童指導員として働いておりました。この度縁あって木の香園で働かせていただくことになりましたが、地域に根ざした障害者支援施設の運営が出来るよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。至らない点が多いと思いますが、関係者の皆様どうぞよろしくお願いいたします。



松隈ノリ子

木の香園でいさびす放課後型が9月よりスタートしましたが、時を同じくして勤務していましたが、限ノリ子です。みなさん、よろしくお願ひします。以前は、肢体不自由児の養護学校で学童保育と知的障害児入所施設に勤務してました。

木の香園に勤務させて頂くようになり、五ヶ月が経とうとしていますが、初めから子ども達は私の緊張を吹き飛ばしてくれ、私の如く元気で活気溢れる日々を過ごしております。好奇心旺盛で、純粋な子ども達はさまざまなおもしろ味を示し、まずは実行に移します。そのような様子を見て、私自身も付かされ勉強になることもありまず、まずは子ども達の安全を第一に考え、その範囲内でのいろんな活動へ取り組んでいきたいと思いたす。時折、男の子はケンカになることもありますが、それも元気のいい証拠。帰り際、楽しかったねと言われると、また明日も頑張ろう。と思えます。力不足ではあります。子ども達も楽しそうに過ごせるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。



障害者自立支援法と 利用者の生活

平成十八年十月から障害者自立支援法がスタートし、それまでの措置・支援費制度から利用契約の度に変更になりました。新しい利用者負担が生じることとなり、利用者並びに保護者の皆様に押し寄せたのではないでしようか。

その後、利用者負担の軽減措置や事業者への激変緩和措置などが行われ、一時の混乱は収まってきました。理解するのにも新しい制度は複雑です。少しでも新しい制度がかり必要があるので、少しずつ勉強していきます。この制度について最新の情報をこの度お知らせしていきます。お問い合わせください。

木の香園も授産施設として十六年目を迎えておりますが、新しい障害福祉サービスを提供していくために、就労支援（授産）、生活介護、相談支援、日中一時支援、グループホーム・ケアホーム等の事業を行う必要があり、しております。事業は既にスタートしており、利用者並びに保護者の方と共に学びながら進めていきたいと考えています。

障害者自立支援法をはじめとする福祉の手続きや制度について、わからないことがあつたらいつでも木の香園にお尋ね下さい。利用者並びに保護者の方々の相談支援を随時行つていきます。

あんな作業

こんな作業

木の香園では従来の作業（アルミ缶リサイクル・シート交換・おしぼりたたみ・下請）の他、新たな次の作業に取り組んでいます。

ビーズストラップ制作

携帯電話がすっかり普及した現在、ストラップもなじみのあるアクセサリーとなりました。そこで木の香園でもビーズを使ったストラップ制作を始めました。利用者たちが真心込めて一生懸命取り組んでいます。デザインは世界にひとつだけのオリジナルです。活用プランは、結婚式のプチギフト、商品ご成約のお礼、一般販売などにいかがでしょうか。



コラボレーション!

（財）筑後川昇開橋観光財団と一緒に携帯ストラップを開発しました。

利用者の作ったビーズストラップをたくさんの方に知ってもらい、手にして欲しいとの想いを実現するために、大川のシンボルである昇開橋とコラボレーションで製品を作ってみました。筑後川昇開橋観光財団の方には大変お世話になりました。おかげさまでいくつかがお店に販売をしていただくことができました。



もみ殻くん炭制作

木の香園でも平成二〇年度より制作することになりました。生するもみ殻をいぶし焼きした炭化させたものです。生ごみ減量を目的として地球環境温暖化防止のために大川市環境課よりダンボールコンポスト（もみ殻くん炭、ピルトモス、布キャップ）による生ごみの堆肥化の委託を受け、利用者の授産事業の一環として行っています。

これは炭なので腐ることはなく、通気性・保肥性・排水性・雑菌抑制に優れ、他の用土に混ぜるなどして培養土づくりに最適な土壌改良資材です。主な活用方法は、生ゴミの消臭剤等にして使用するのが一般的です。



自動販売機設置事業

平成二〇年六月二十六日より木の香園でもセルプの啓発と併せて施設利用者の給与の確保や日本セトルブセンター等の会費の一部となるようコラボラウエストジャパ株式会社（セルプ）のロゴのついた自販機を取り扱うことになりました。



ジュース1本120円から働く障害者の工賃を補助することができません。セルプ自動販売機でジュース1本飲むことにより、木の香園利用者の給与の一部として、また、社会就労センターの団体であるセルプセンターの運営資金として活用されます。

ちなみにSELP（セルフ）とは？

授産施設は障害などの理由により、一般企業に雇用されることが困難な人たちがリハビリや職業訓練も含めて働き、社会参加を実現している社会福祉法人施設です。

授産施設は、C I (Corporate Identity) 戦略の一環として平成7年7月1日から、社会就労センター/SELP(セルフ)と改称しました。セルフとは英語のSelf Help(自立)から作られた造語です。SはSupport(支援) LはEmployment(就労) EはLiving(生活) PはParticipation(社会参加)

「日中一時支援 木の香園でいさーびす」を開設しました

「障害者自立支援法」が平成十八年十月に制定されたのに伴い、それぞれの自治体で障害者施策を組まないといけなくなりまして。木の香園でも平成二十年七月二十一日より障害児を対象とした「日中一時支援 木の香園でいさーびす」を開設し、それぞれのニーズに添える取り組みを始めました。

「日中一時支援 木の香園でいさーびす」は障害のある小・中・高生の方や、日中一時的に見守り等の支援が必要な方を対象とし、創作活動やレクリエーション、行事、仲間との交流など、様々な日中活動の場を提供します。活動実施期間は長期休暇中（夏休み・冬休み・春休み）平日の放課後です。なお、平日の放課後でいさーびすは大川市老人福祉センターにて行っています。



主な活動は次のとおりです。

- ・創作活動
（ペーパークラフト・ぬり絵・はり絵他）
- ・学習活動
（学校からの宿題）
- ・作業訓練
（ピース・ひも通し他）
- ・スポーツ活動
（ボール遊び・サッカー他）
- ・夏休み期間は水泳あり
・屋外活動
（アルミ缶遊び・昆虫採取・カ
ルタ他）
- ・外出（ドライブ、ショッピング）
- ・趣味活動
・レクリエーション（水遊び、ゲ
ーム等）
- ・行事（お誕生日会、季節の行事）

日中一時支援 クリスマス会

十二月二十二日にクリスマス大会を行いました。みんなでレクリエーションやゲームを楽しみ、その後ケーキを食べたりして楽しい一時を過ごしました。



指定相談支援

木の香園相談支援センター

平成二十年十月より、「指定相談支援 木の香園相談支援センター」を開設しました。事業の運営に当たっては関係市町村、障害福祉サービス、事業者等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善・開発に努め、相談支援を行っています。障害のある方や、そのご家族からの相談をお受けするほか、介護給付等、支給決定を受けた方に「サービス利用計画書」を作成します。お気軽にご相談下さい。

指定相談支援

木の香園相談支援センター概要

営業時間 平日午前八時半～夕方五時
（土日、祝日、お盆、年末年始期間を除く）
職員配置 管理者 一名
相談支援専門員 二名
事業の実施地域 大川市、柳川市、大木町、佐賀市
敷地面積 314.15㎡(943坪)
建坪 561.1㎡(170坪)

支援内容

一・サービス利用に関するあっせん・調整

二・サービス利用計画書の作成

・障害者自立支援法についてわかりやすく説明します。
・地域のサービス事業所等の情報を提供します。
・サービスの利用に当たっては、ご自宅を訪問するなどして状況を確認し、関係する方々を交えて、サービス利用の計画を作成していきます。
・サービス利用後は、定期的に訪問するなどして、必要に応じてサービスの見直しを行います。

利用料金のご案内

介護給付費（相談支援費）
サービス利用計画作成費（自己負担なし）
サービス利用計画作成費（自己負担なし）
（ ）の単価は上限額管理を行った場合

一般相談（大川市委託事業・平成二十一年四月予定）
無料
その他
事業の実施地域を越えて行う事業については、通常の実施地域を越えた地点から1kmにつき六十円。

これまでの行事

平成二〇年度
4月より1月まで



招待バスハイク 4月25日
大川ライオンズクラブ招待バスハイクは太宰府天満宮とだざいふ遊園地へ行きました。ライオンズクラブの皆様、ありがとうございます。



花見 4月4日
花見は例年、佐賀市の蓮池公園にて行っています。利用者たちは往復8キロの道のりを元気に歩いていきました。



ちまきの会 6月6日
木の香園の初夏の行事としてすっかり定着しています。



チャレンジデー 5月28日
利用者たちの体力をつける一環として「チャレンジデー」を実施しました。



芋苗植え 5月下旬
木の香園の敷地内の畑へ芋苗を植えました。収穫時が楽しみです。



**夏のレクリエーション
(ぶどう狩り)**
8月21日
利用者たちのリフレッシュもかねて、久留米市田丸町へぶどう(巨峰)狩りに行ってきました。



水泳教室
7月下旬～8月上旬
地域校区である道海島小学校が夏休みに入ると希望者のみで同小のプールで水泳教室を行いました。



買い物実習 6月下旬
利用者たちをいくつかのグループに分けて、佐賀のゆめタウンと大川のゆめタウンに行ってきました。



木工まつりバザー
10月11・12日
恒例となった木工まつりバザーは昨年也大盛況でした。



枝豆収穫 10月10日
樺島園長のご家族が経営する畑にて、毎年枝豆を収穫しています。



買物実習 9月中旬
6月に引き続き2回目の買物実習でした。利用者たちはそれぞれ楽しんでいました。



バルーンフェスタ見学 10月31日
 晩秋の佐賀を彩るバルーンフェスタ見学に行ってきました。のんびりとバルーンを見て、お弁当を食べて出店巡りをしました。

大運動会 10月24日
 恒例の運動会が盛大に行われました。迫力ある競技ばかりで利用者・職員共に思い切り楽しみました。



厳島神社清掃 12月9日
 障害者の日奉事業の一環として大川市道海島にある厳島神社の清掃を実施しました。

一泊旅行 11月13日・14日
 今回は九州を飛び出して東京方面へ行ってきました。行き先は東京ディズニーランド、浅草周辺でした。その他バス車内から都内観光をしました。



クリスマス忘年会 12月25日
 佐賀市のロイヤルパークホテルにてクリスマス忘年会を行いました。お世話になっているボランティアさんたちや大川社協事務局の職員さんとも同席して楽しみました。



初詣ともちつき 1月5日
 新年恒例となっている初詣は全員で道海島の厳島神社へ行きました。その後、木の香園で餅つきを行い、雑煮にして頂きました。午後からはマシュマロ競争や書き初めを行いました。

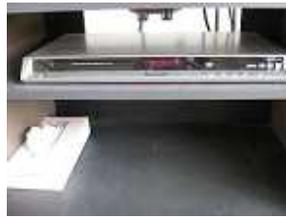
日本財団助成福祉車両
助成金交付

平成二十年二月二十九日、日本財団より新型福祉車両の納車式を行って頂きました。木の香園では開設当初より送迎サービスを行って頂きましたが、これまで使用してきた送迎車の老朽化に伴い、補助ステツプ付きの車両が導入されました。車体には財団のシンボルマークが大きく左右にペイントされています。送迎車両の整備によつて、毎日の送迎はもとより、園の行事やレクリエーション、買物実習など、多目的に利用可能となりました。おかげで利用者たちも大変喜んでいます。ありがとうございます。



大川ライオンズクラブより
寄贈品をいただきました

平成二十年四月十八日、大川ライオンズクラブ様より木の香園へDVDプレーヤー、全自動洗濯機各1台ずつ寄贈されました。ありがとうございます。



(財)みずほ福祉助成財団より
社会福祉助成金が贈呈されました

平成二十年十一月二十一日、社会福祉助成金贈呈式が木の香園にて行われました。式では利用者・職員が見守る中、みずほ銀行久留米支店永田支店長より大川市福祉会の金子理事長に助成決定通知書が手渡されました。助成金額は五十万円です。園ではこれをもちぎん炭の購入費に充てました。

給食だより

木の香園では開設当初より利用者の皆さんにおいしく頂ける給食を提供してまいります。献立の内容も栄養面などを考慮して多彩になるように心がけてまいります。また、利用者の誕生日には本人に希望献立の聞き取りを行い、特別に食べたいメニューを献立にいたします。毎日、利用者たちも自分の誕生日心待ちにしています。

今年度もっとも希望献立が多かったミートソースです。



機は十二月二十五日に納品され、これまで手作業で作っていたのが機械が導入されたことにより大幅に改善され、大量に製造することが出来るようになった。また利用者の授産に働き上げるためにも期待します。

次に多いのが唐揚げでした。



楽しい給食風景です。



アルミ缶回収のご協力を

木の香園では、開所当初より、授産事業の一つとして、リサイクル事業へアルミ缶回収・空き瓶回収を行っております。アルミ缶回収、プレス作業を行うことで十五年になりました。その収益は利用者の作業工賃として全額還元しております。現在も、数多くの市民の皆様よりご協力頂いてアルミ缶回収を行っております。毎月一トンのアルミ缶回収を行う目標としますが、木の香園の今後の回収を目指して頑張っております。たいと想っております。今後、一層の市民の皆様のご協力をお願いいたします。

連絡先 木の香園
(電話 八七〇七一九七)



皆様の暖かいご寄付
ありがとうございます

(順不同掲載)

・西村 利男 もち米三十kg

・平方生花 生花 毎月

定例会として

・毎月二十日前後 生花教室
(指導 池坊 山田差也珂)

*施設に苦情がありましたら
ご遠慮なく申し出ください

一、苦情処理担当 山崎まゆみ

苦情解決責任者 樺島留男

二、第三者委員 中村研一
高橋清太

三、その他の苦情受付機関

福岡県社会福祉協議会
運営適正化委員会

電話(〇九二)九一五一三五一

平成 19 年度 貸借対照表（法人合計合算）

平成 20 年 3 月 31 日（単位 円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	63,725,407	流動負債	2,125,103
現金預金	53,931,812	未払金	1,913,240
未収金	9,793,595	預り金	211,863
固定資産	185,178,368	固定負債	10,000,000
建 物	77,199,915	設備資金借入金	10,000,000
基本財産特定預金	1,000,000		
その他固定資産	106,978,453	負債の部合計	12,125,103
		純資産の部	
		基本金	10,738,025
		国庫補助金積立金	57,899,940
		その他積立金	101,656,507
		次期繰越活動収支差額	66,484,200
		純資産の部合計	236,778,672
資産の部合計	248,903,775	負債及び純資産の部合計	248,903,775

平成 19 年度 収支決算書（法人合算会計）

平成 20 年 3 月 31 日（単位 円）

授産活動による		福祉活動による		施設整備による		財務活動による		計	
収支		収支		収支		収支		計	
収 入	5,523,541	収 入	56,596,457	収 入	1,640,000	収 入	2,000,000	収 入	65,759,998
支 出	5,206,153	支 出	40,886,246	支 出	2,828,180	支 出	2,000,000	支 出	50,920,579
収支差額	317,388	収支差額	15,710,211	収支差額	1,188,180	収支差額	0	当基金収支差額	14,839,419